

基本目標Ⅱ | 誰もが健康で安全安心に暮らせるまち

05 | 支えあう消防救急体制

施策範囲 消防救急



現状と課題

- 消防施設、車両、資器材は、それぞれの更新基準に基づき、計画的に更新を推進することが必要となっています。
- 消防団員数は高齢化等のため減少傾向にあり、団員の確保が課題となっている上に、防火団体などの市民組織の加入会員数も年々減少傾向にあるため、会員の加入に向けた普及が課題となっています。
- 救急業務に対するニーズが急増していることから、救急車の適正利用と救命率の向上が課題となっています。

基本方針

- より効果的な防火防災対策を推進するため、消防団の充実、活性化を図り、火災予防活動、防火啓発及び自主防災組織の指導等を拡大させていくとともに、防火団体等を通じて行政と住民が協力していきます。
- 老朽化した消防施設の改修・更新及び車両、資器材等の充実により、被害の軽減を図っていきます。
- AED設置普及活動を推進し、救命率の向上を図るため、市民の積極的な救命講習会受講を促すことにより、バイスタンダー(その場に居合わせた人)の育成に取り組めます。

前期計画の重点施策

- 05-1 消防体制の充実
- 05-2 防火団体の育成

成果指標	数値目標		
	現状(平成26年度末)	目標(平成32年度)	備考
消火器、AEDの使用方法をともに知っている市民の割合(市民アンケート)	43%	➡	
防火団体数	21団体	➡	

持続的なまちづくりの取組み

- 効果的な消防活動に向けた、防火活動推進団体の育成、活性化、組織強化
- 防火思想の普及啓発
- 効果的な救急活動に向けた、関係機関との連携と、救急啓発活動の推進

わたしたちができること

- 防火思想への理解
- 防災設備の設置、維持
- 予防意識及び予防・救急に対する互助意識の向上
- 救急車の適正利用

個別計画

恵庭市消防組織充実強化計画 / 消防計画 / 消防施設設備等修繕計画 / 防火衣更新計画 / 消防団員資器材整備計画 / 救急支援に伴う救急資器材の整備計画 / 消防水利計画 / 管轄別査察計画(予防・島松・南)